

MCA1120

■ 特長

- ・120Wの高出力、ハイ/ローインピーダンス両方に対応(100/70V、2/4/8Ω)
- ・スピーカーEQやHPF等により各スピーカーのパフォーマンスを引き出しつつ破たんを抑制
- ・各業態に最適な音空間を実現するBGMサウンドモード(BGM、カフェ・クリニック、アパレルの3モード)
- ・Bluetooth®入力とフロントUSB給電に対応し、タブレット音源とも簡単接続
- ・マイク入力は2系統あり、ワイヤードとワイヤレスの双方に対応(ワイヤード2本も使用可能)
- ・マイクの使用シーンをサポートするさまざまな機能を搭載(マイクダucker、フィードバックサプレッサー)
- ・増設用パワーアンプ(PCA1120)との接続によりシステム拡張が可能
- ・EIA規格のラックに適合した1Uハーフサイズ(別売の取付金具は1台置き、2台横連結の双方に対応)

■ 同梱品

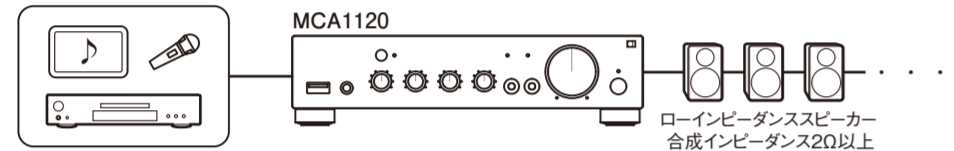
- ・アンプ本体
- ・電源コード
- ・5ピンユーロブロック x 3個
- ・取扱説明書(本書)
- ・安全上のご注意
- ・保証書



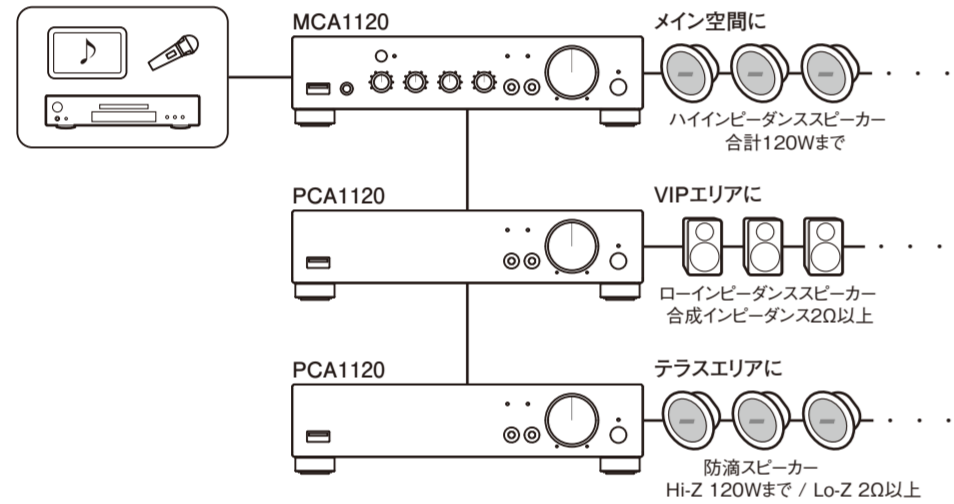
❗ 本製品は業務用機器のため、専門の施工業者による設置が必要です。

システム構成例

■ 構成例A：MCA1120単体でマイクも使えるBGMシステムを構築する



■ 構成例B：MCA1120のスピーカー増設用にPCA1120を使用する

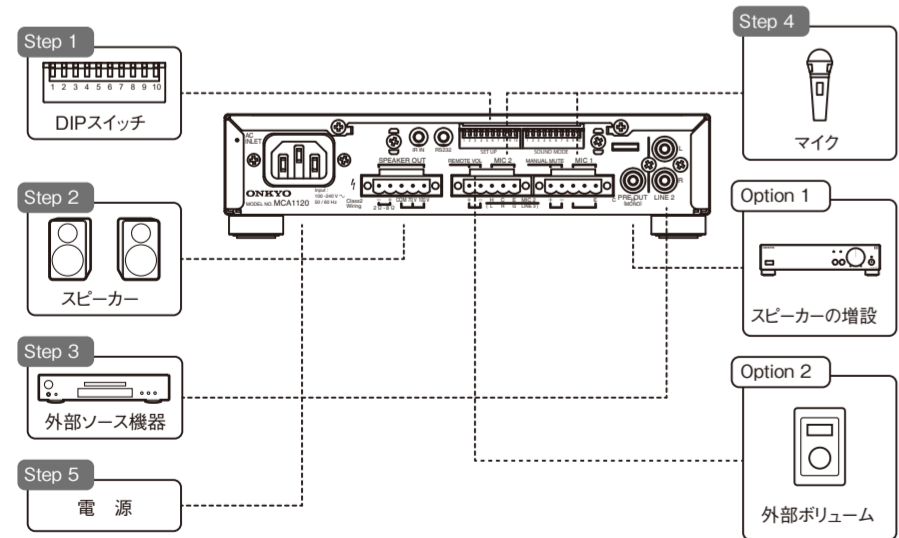


各アンプに違う種類のスピーカーを接続しても音が破たんしない仕様です。MCA1120でシステム全体の音量を調節し、PCA1120でそれぞれのエリアの微調整が可能です。

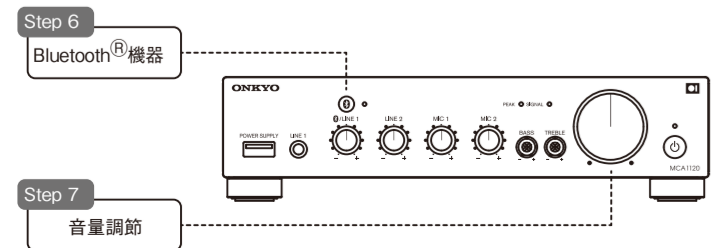
■ 構成例C：PCA1120にサブウーファーを接続して高音質を実現する

PCA1120には、サブウーファーを接続するためのフィルターも用意されています。

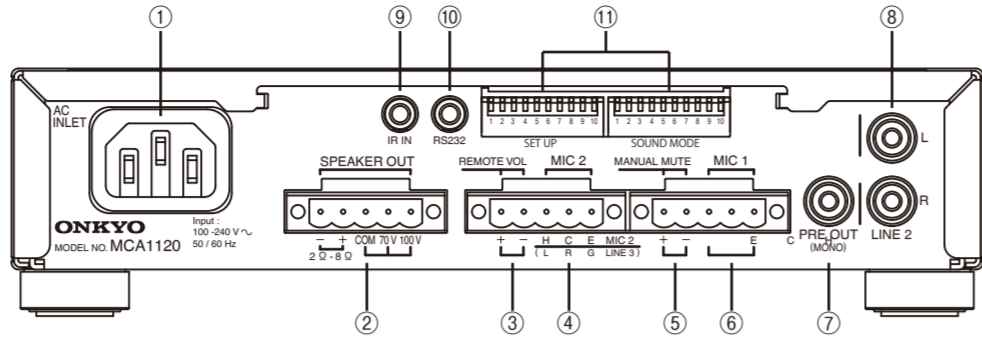
設定 Step



操作 Step



各部の名称と機能 (リアパネル)



- ① 電源入力端子 (IEC C13規格、定格 100V-240V 50/60 Hz)
- ② スピーカー出力端子 (ユーロブロック) ハイインピーダンスとローインピーダンスでは接続箇所が違いますのでご注意ください。(⇒Step 2参照) またDIPスイッチによる設定が必要です。(⇒Step 1参照) RS232経由で、0-500msのDelay値を設定できます。
- ③ リモートボリューム端子 (ユーロブロック) 外部ボリュームを接続することで、本体とは別の場所でもボリューム調節ができるようになります。
- ④ MIC 2 / LINE 3 入力端子 (ユーロブロック) DIPスイッチの設定により、Micレベル入力かLineレベル入力機器かを選択できます。
 - ・ワイヤレスマイクを使用する場合は、必ずこのMIC 2端子に接続してください。
 - ・Micレベル出力のマイクを使用する場合は、DIPスイッチでMIC 2 AMP をOnにします。

Step 1：DIPスイッチの設定

■ SET UP DIPスイッチ

重要：安全なご利用のため、必ず正しく設定してください。SET UP DIPスイッチは、電源プラグを抜き20秒以上待って挿し直すと設定が反映されます。DIPスイッチ操作後に電源プラグを抜かず使用すると、設定が反映されず接続機器を破損させる恐れがあります。

DIPスイッチ1：[Keylock]

[☉] 電源ボタンとマスターボリューム以外のフロントパネル操作をロックします。

1	<input type="checkbox"/> アンロック (ロックしない)
	<input type="checkbox"/> ロック

DIPスイッチ2：[Auto Standby]

音楽 / 音声の入力がなく、かつ本機を2時間操作しなかった場合、自動的にスタンバイ状態にします。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

Note：Bluetooth接続中の場合、Auto Standbyは動作しません。

DIPスイッチ3, 4：[Auto Power On]

スタンバイ中に設定した入力信号(またはBluetooth接続)を検出すると、自動的に電源をオンにします。

3	4	<input type="checkbox"/> Bluetooth / LINE 1
		<input type="checkbox"/> LINE 2
		<input type="checkbox"/> LINE 3
		<input type="checkbox"/> Off

DIPスイッチ5：[Volume Control]

本機以外のボリュームコントローラーを使用する場合は、外部ボリューム(10kΩタイプ)または外部リモコン受光ユニット(IR)のいずれかを選択してください。

5	<input type="checkbox"/> 外部ボリューム(10kΩタイプ)を使用 または 外部コントロールを使用しない
	<input type="checkbox"/> リモコン受光ユニット(IR制御)を使用

DIPスイッチ6：[MIC 2 / LINE 3]

MIC 2 / LINE 3 端子の用途を設定します。

6	<input type="checkbox"/> MIC 2
	<input type="checkbox"/> LINE 3

DIPスイッチ7：[MIC 2 AMP]

スイッチ#6をMIC 2に設定した場合は、On(Micレベル)またはOff(Lineレベル)を選択してください。

7	<input type="checkbox"/> Off (Lineレベル)
	<input type="checkbox"/> On (Micレベル)

DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]

スピーカー出力をハイインピーダンスからローインピーダンスに切り替えます。

8	<input type="checkbox"/> ハイインピーダンス (70 V / 100 V)
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス (2Ω / 4Ω)

❗ とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]

SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]をローインピーダンスに設定した場合は、より詳細な設定が必要です。複数台のスピーカーを接続する場合は合成インピーダンスを設定してください。8Ωスピーカー2台なら合成インピーダンスは4Ω、4台なら2Ωとなり、接続台数によって設定が異なります。

9	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 4Ω以上
	<input type="checkbox"/> ローインピーダンス 2Ω以上 4Ω未満

❗ とても重要な設定です。DIPスイッチの設定とスピーカーのインピーダンスが合っていないと故障や火災の原因となります。

⑤ MIC 1 入力用マニュアルミュート端子 (ユーロブロック) MIC 1にて無電圧マイク接続(トークスイッチ連動のリモート機能)付きマイクを使用する場合、接続回路はこの端子に接続します。リモートスイッチを押している間、他の外部ソース機器の入力音声をミュート(消音)します。

⑥ MIC 1 入力端子 (ユーロブロック) MIC 1は一般的なMicレベル出力のマイクのみ接続可能です。ワイヤレスマイクを使用する場合は、Lineレベル出力に対応しているMIC 2入力端子をご使用ください。

⑦ PRE OUT 端子 (RCAモノラル) 本機のマスターボリューム連動のモノラル出力端子です。RCAケーブルを使用して、PCA1120などの増設用パワーアンプが接続できます。RS232経由で、0-500msのDelay値を設定できます。

⑧ LINE 2 入力端子 (RCAステレオ) RCAケーブルで外部ソース機器と接続します。

⑨ IR IN (3.5mmミニジャック モノラル or 2線) 外部リモコン受光ユニットを接続する端子です。

⑩ RS232 (3.5mmミニジャック ステレオ or 3線) 外部コントロールシステムを接続する端子です。誤動作を防止するため、RS232ケーブルを抜き挿しする際は電源コードを抜いてください。

⑪ DIPスイッチ (10P x 2個) 各種の設定に使用します。(⇒Step1参照)

DIPスイッチ10：[PRE OUT Level]

PRE OUTの出力レベルを、可変(マスターボリューム連動)からラインレベル固定に切り替えます。

10	<input type="checkbox"/> 可変
	<input type="checkbox"/> 固定

Note：固定の場合、RS232経由で固定する音量の設定ができます。

■ SOUND MODE DIPスイッチ

より良い音でご利用いただくためのオプション設定です。SOUND MODE DIPスイッチは、電源がオンのままでも設定変更が反映されます。音質を確認しながら設定を変更することができます。

DIPスイッチ1：[Mic Ducker]

マイクから音声が入力されると、LINEとBluetoothの音声(BGM等)が自動で24dB減衰します。

1	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

SET UP DIPスイッチ6：[MIC 2 / LINE 3]を[MIC 2]に設定すれば、2本のマイクでこの機能が使えます。

DIPスイッチ2：[Auto Leveler]

音量に差のある入力信号でも、自動でほぼ一定の音量に調節します。すべての入力が対象です。

2	<input type="checkbox"/> Off
	<input type="checkbox"/> On

DIPスイッチ3, 4, 5：[HPF] (High Pass Filter)

スピーカー出力用のハイパスフィルターを設定します。

3	4	5	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 50 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 40 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 60 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 70 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 90 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 150 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 200 Hz
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off (フィルターを使用しない または スピーカーEQを使用する)

Note：ハイインピーダンスのスピーカーを使用する場合は、[Off]に設定しないでください。[Off]ではアンプの保護機能が働く可能性があります。RS232経由で、IRフィルターとFIRフィルターの切り替えができます。初期値はIRフィルターになります。

DIPスイッチ6, 7：[BGM Mode]

設置環境に合わせたサウンドモードを選択します。

6	7	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> BGMモード	多くの物販店向き	心地よい空間を演出
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> カフェ・クリニックモード	飲食店・クリニック向き	心が安らぐ空間を演出
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> アパレルモード	衣料店向き	活気ある空間を演出
		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off		

DIPスイッチ8, 9, 10：[Preset EQ for Loudspeaker](スピーカーEQ)

スピーカーに合わせたEQを設定します。

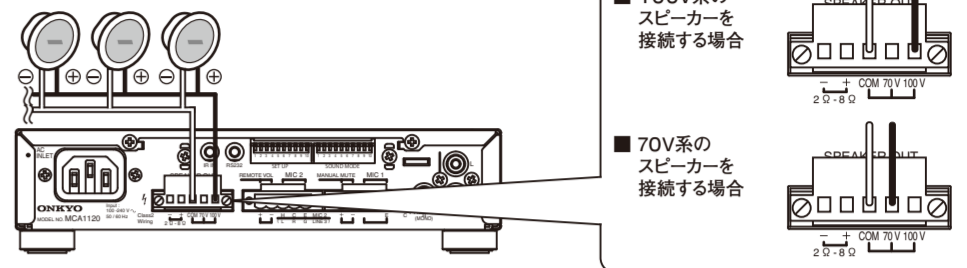
8	9	10	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Off
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 1：Onkyo用リザープ
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 2：Onkyo用リザープ
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 3：Onkyo用リザープ
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 4：Onkyo用リザープ
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 5：B16
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 6：B40
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Type 7：J24CTM

Step 2：スピーカー接続

⚠ スピーカーの設定/接続には細心のご注意を。これらを間違えると、故障や火災の原因になります。

- ・電源コードは最後に接続します。ここではまだ、電源コードは接続しないでください。感電の原因となります。
- ・ご使用になるスピーカーのインピーダンスに合わせて、DIPスイッチの設定とユーロブロックの接続位置を確認してください。これらを間違えると重大な事故につながる可能性があります。

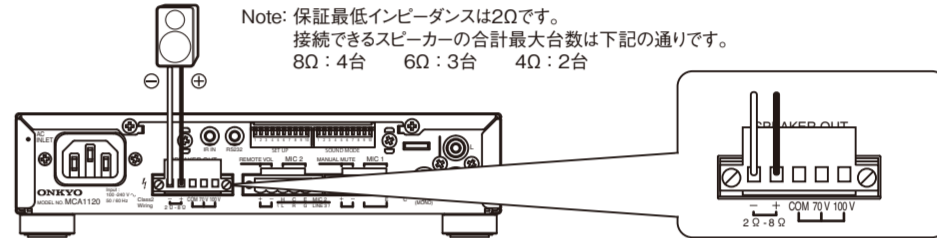
■ ハイインピーダンススピーカー接続



1. SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ハイインピーダンス]に設定する。
2. SPEAKER OUTの[100V]端子または[70V]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUTの[COM]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

⚠ ・70V系と100V系を同時に接続しないでください。
・接続するスピーカーの定格入力合計は、必ず120W以下に取ってください。

■ ローインピーダンススピーカー接続



1. SET UP DIPスイッチ8：[SPEAKER OUT]を[ローインピーダンス]に設定する。
2. SPEAKER OUTの[+]端子とスピーカーの[+]端子、SPEAKER OUTの[-]端子とスピーカーの[-]端子をスピーカーケーブルで接続する。

⚠ ・ローインピーダンスのスピーカーをハイインピーダンス用端子に接続しないでください。
・複数のスピーカーを接続する場合、合成インピーダンスがSET UP DIPスイッチ9：[Speaker Lo-Z]で設定した値の範囲内でご使用ください。

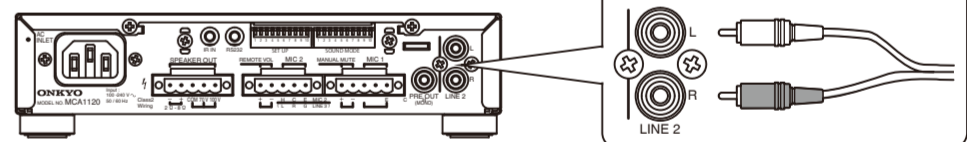
Step 3：外部ソース機器接続

ステレオ信号は、内部でモノラルにミキシングされます。

■ LINE 1 接続

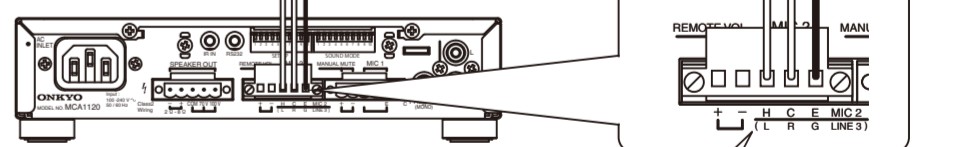
・裏面の「フロントパネル」の項を参照してください。

■ LINE 2 接続

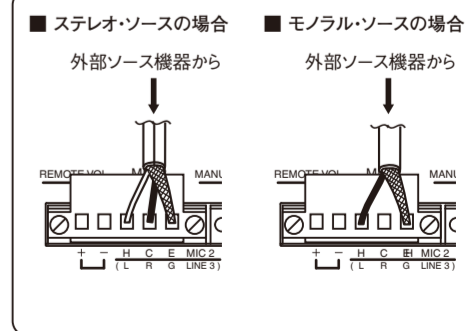


・外部ソース機器の出力をRCAケーブルでLINE 2端子に接続する。モノラル機器を接続するときは、L/Rどちらかの端子に接続してください。

■ LINE 3 接続



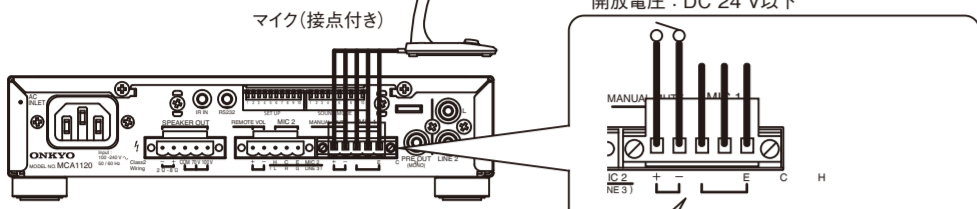
1. SET UP DIPスイッチ6：[MIC 2 / LINE 3]を[LINE 3]に設定する。この設定をしないと、楽曲の同相成分(主にメロディーやベースなど)が出なくなります。
2. 外部ソース機器の出力をユーロブロックのLINE 3端子に接続する。モノラル機器を接続するときは、L/Rどちらかの端子に接続してください。



Step 4：マイク接続

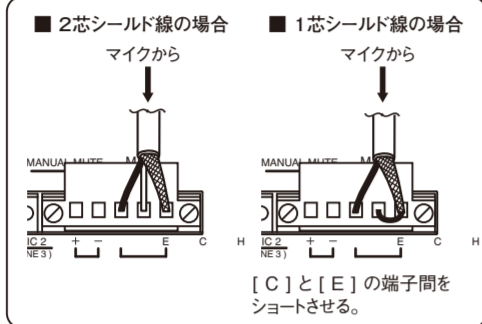
- ・マイクダuckerとフィードバックサプレッサーはMIC 1 / 2のどちらでも使用できます。
- ・ページング機能付きマイクはMIC 1へ、ワイヤレスマイクはMIC 2へ接続します。
- ・ファンタム電源はありませんので、コンデンサマイクは使用できません。
- ・通常のダイナミックマイクはMIC 1 / 2のどちらでも使用できます。

MIC 1 接続

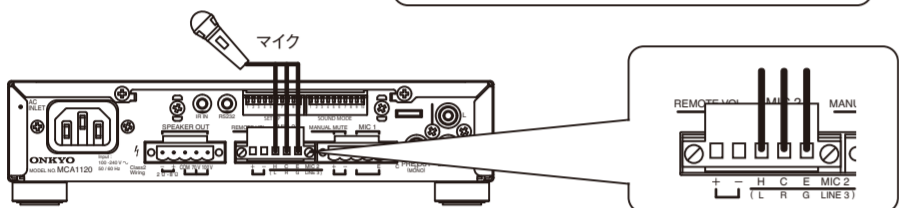


1. マイクの出力をユーロブロックのMIC 1に接続する。

2. 必要に応じ、ページング機能用トークスイッチをMANUAL MUTE [+]/[-]端子に接続する。マイクのトークスイッチが押している間、他の外部ソース機器の入力音声をミュート(消音)させることができます。



MIC 2 接続

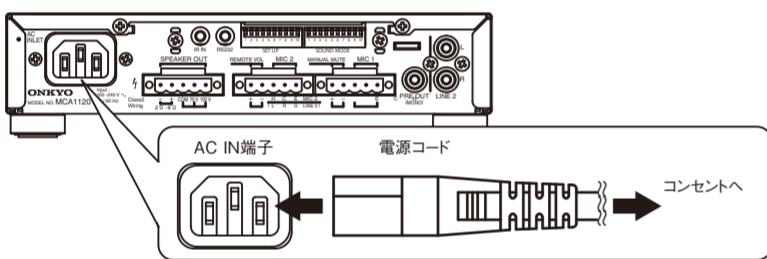


1. SET UP DIPスイッチ6[MIC 2 / LINE 3]を[MIC 2]に設定する。

2. Micレベル出力のマイクを接続する場合は、SET UP DIPスイッチ7 [MIC 2 AMP] [On]に設定する。ワイヤレスマイクはワイヤレスレシーバーの出力レベルをご確認ください。Lineレベルであればこの設定は不要です。

3. マイクの出力をユーロブロックのMIC 2に接続する。シールド線の接続方法はMIC 1接続の項を参照してください。

Step 5：電源接続



- ・付属の電源コードをAC電源入力端子に接続し、電源プラグをコンセントへ挿し込む。

主な仕様

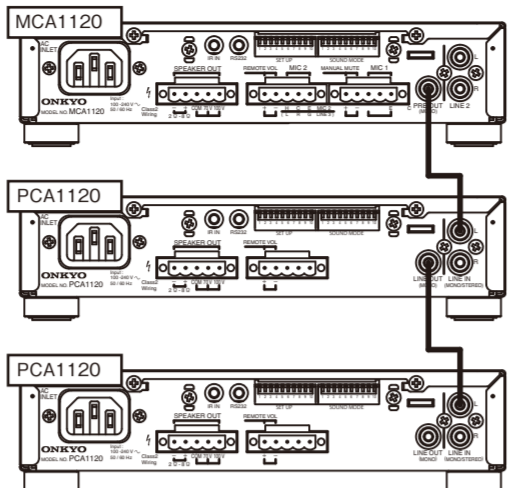
Speaker Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4-8Ω)	Hi-Z (70, 100V)	測定条件 / Measurement Condition	
定格出力 / Rated Power	120W × 1ch	120W × 1ch(4Ω) 80W × 1ch(6Ω) 60W × 1ch(8Ω)	120W × 1ch	1kHz	
全高調波歪率 / THD+N	≦0.5 %	≦0.5 %	≦1.0 %	1kHz @ Full Rated Power	
周波数特性 / Frequency Response	20 Hz - 20 kHz(+0dB, -6dB)			Reference 0dB @ 3W, 1kHz	
SN比 / Signal-to-Noise Ratio	≧-90dB			LINE 2 input volume Max., other input volume Min., with IEC-C filter	
Input	LINE 1	LINE 2	LINE 3 *1	MIC 1	MIC 2 *1
入力端子 / Input Terminal	Stereo Mini (3.5mm)	Stereo RCA	EuroBlock	EuroBlock	EuroBlock
排他入力 / Exclusive Input	Bluetooth	---	MIC 2 *1	---	LINE 3 *1
入力感度 / Input Sensitivity	-14dBV	-10dBV	-10dBV	-50dBV	-50dBV
入力インピーダンス / Input Impedance	43kΩ	14kΩ	14kΩ	2kΩ	2kΩ
Output	Lo-Z (2Ω)	Lo-Z (4-8Ω)	Hi-Z (70V)	Hi-Z (100V)	PRE OUT
出力端子 / Output Terminal	Euroblock Balanced (-/+)		Euroblock Balanced (COM / 70 or 100V)	Monaural RCA	Unbalanced
最大出力レベル / Max. Output Voltage	15.5Vrms	22Vrms	70Vrms	100Vrms	1Vrms
定格負荷 / Rated Load	2Ω	4-8Ω	41Ω	82Ω	2kΩ

*1: MIC 2とLINE 3は排他設定のため、どちらかしか使えません。

Bluetooth & USB	
通信システム / Communication System	Version 5.0
通信距離 / Communication Range	Max. 10m (Line of sight approx.)
USB 給電能力 / USB Power Supply	5V/2.1A (Not For Audio Playback)
総合 / General	
使用温度範囲 / Operating Temperature	0 - 40 °C @ Non-condensing (結露無きこと)
電源 / Power Supply	AC100 - 240V(50/60 Hz)
消費電力 / Power Consumption	215W @ Rated Power, 10W @ Idling
外形寸法 / Dimensions	1 RU high (w/o Feet), half rack wide 8.5 W x 2.2 H x 12.6 D [inch](w/o legs 1.75H) 215 W x 55 H x 319 D [mm](w/o legs 44.5H)
本体質量 / Product Weight	3.6kg(7.9lbs)
別売オプション / Option	Power Amplifier : PCA1120 Rack Mount Kit : IRK-44-3

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

Option 1: PCA1120を使ったスピーカーの増設



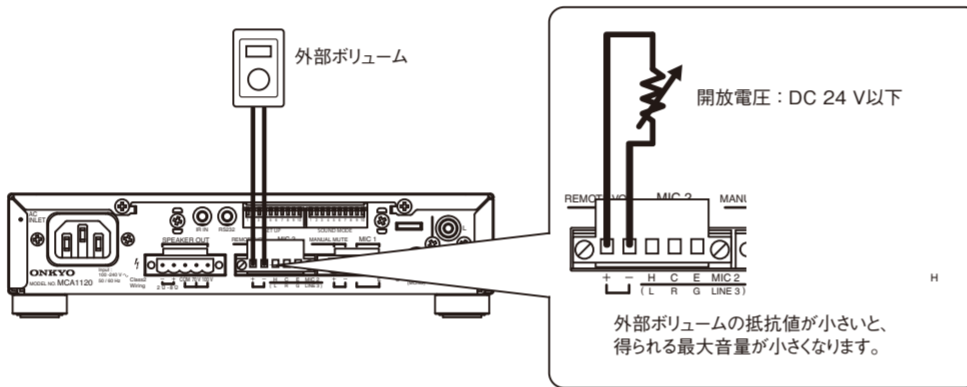
1. MCA1120のPRE OUT端子とPCA1120のLINE IN端子のL/RどちらかをRCAのモノラルケーブルで接続する。
2. PCA1120の取扱説明書に従い、DIPスイッチの設定とスピーカーの接続を行なう。
3. 更に拡張する場合は、PCA1120のLINE OUT端子から次のPCA1120にシリーズに接続する。

MCA1120とPCA1120をペア使用するメリット

- ・MCA1120とPCA1120を接続することで、スピーカーの本数を増やしたり、低音を増強するなどの多彩なシステム拡張が可能
- ・MCA/PCAは独立してスピーカー-EQやHPFの設定ができるため、それぞれに別品種のスピーカーを接続可能
- ・MCA1120のプリアウトはボリューム連動するため、スピーカーを増設してもシステム全体の音量調整がしやすい
- ・PCA1120のボリューム位置を中央(12時)にするとMCA1120と音量が揃い、各スピーカーのレベルを合わせやすい
- ・エリアごとにPCA1120を使用すれば、それぞれ独立して音量調節することも可能

Option 2：外部ボリューム制御

市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続して、本機の出力レベルを制御できます。外部ボリュームと本機のマスターボリュームは掛け合わせ動作のため、どちらかのボリュームを絞ると、それ以上の音量が出ません。



1. SET UP DIPスイッチ5[Volume Control]を[外部ボリューム(10kΩ)]に設定する。

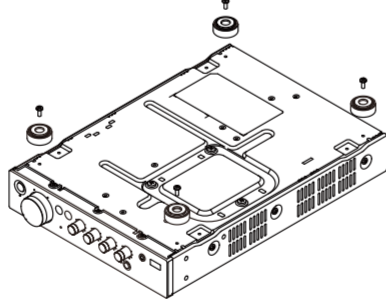
2. 市販の外部ボリューム(10kΩ、Bカーブタイプ)を接続する。

設置について

- ・通気孔をふさがないでください。
- ・大音量で長時間再生すると、温度上昇により保護機能が働き、音量が下がる場合があります。

ラックマウントの場合

1. 本機の底面にねじ止めされている足4本を外す。

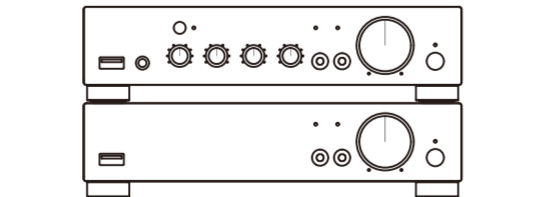


2. 別売のラックマウント金具[IRK-44-3]の取扱説明書に従い、本機に取り付ける。

3. 本機をラックに固定する。

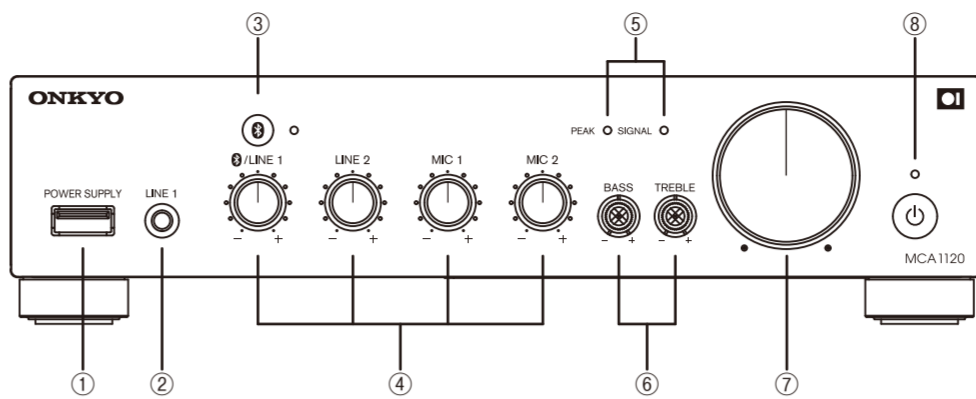
重ね置きする場合

重ね置きをする場合は、上部に十分な放熱用の空間を確保してください。また、機器同士が接しないよう、付属の足は外さないでください。



冷却用ファンなど一部の部品は消耗品のため、劣化に応じて部品の交換が必要になります。交換については、お買い上げ店またはオンキヨーオーディオコールセンターまでご連絡ください。

各部の名称と機能(フロントパネル)



① USB 電源供給端子 (5V/2.1A)
対象機器の電流容量をご確認ください。一部のタブレットやノートPCなど、定格を超える機器にはご使用いただけません。

② LINE 1 入力端子 (3.5mmミニジャック ステレオ)
ポータブルオーディオプレーヤーやタブレットなどを接続します。LINE 1 入力とBluetoothは排他仕様です。後から接続した機器の音声が出力されます。

③ [Ⓞ] Bluetooth ボタン / インジケータ
ポータブルオーディオプレーヤーやタブレットなどをBluetoothによりワイヤレス接続する際に使用します。インジケータが点滅しているときはペアリングモード、点灯しているときは接続中を意味します。LINE 1 入力とBluetoothは排他仕様です。後から接続した機器の音声が出力されます。

④ インプットボリューム LINE 1(Bluetooth) / LINE 2 / MIC 1 / MIC 2 (LINE 3)
各入力レベルを調節します。LINE 3のレベル調節は、MIC 2用のノブを使用します。(電源オン時のボリューム位置を、ボリューム位置設定後、[Ⓞ] 電源ボタン長押しで設定することができます。長押し5秒後にインジケータが赤色に点滅し、その10秒後に以降に赤色と橙色が交互に点滅するので手を離します。解除する場合は、長押し5秒後にインジケータが赤色に点滅し、その10秒後に以降に赤色と橙色が交互に点滅したら、電源ボタンを押したまま電源プラグを抜いてください。)

⑤ SIGNAL / PEAKインジケータ
SIGNALインジケータ
スピーカー出力レベルがしきい値(定格出力から-46dB近辺)以上になると点灯します。音量が小さい場合は点灯しないこともあります。目安ですので問題ありません。ミュート時には点滅します。(IR INまたはRS232接続のコントローラーによりミュートできます。本機ではミュート操作はできません。)
PEAKインジケータ
スピーカー出力レベルがピーク(定格出力から-3dB近辺)に達した場合に点灯します。点灯している状態では、音声が歪む可能性がありますので、音量を調節してください。

⑥ BASS / TREBLEコントロール
BASS (低域)とTREBLE (高域)の音量をそれぞれ-10dB~+10dBの間で調整できます。小型のドライバーなどで操作してください。

⑦ マスターボリューム
スピーカー、PRE OUT端子に出力する音量を調節します。右に回すと大きくなります。PCA1120を増設している場合、このノブでシステム全体の音量を上げ下げできます。(電源オン時のボリューム位置を、ボリューム位置設定後、[Ⓞ] 電源ボタン長押しで設定することができます。長押し5秒後にインジケータが赤色に点滅し、その10秒後に以降に赤色と橙色が交互に点滅するので手を離します。解除する場合は、長押し5秒後にインジケータが赤色に点滅し、その10秒後に以降に赤色と橙色が交互に点滅したら、電源ボタンを押したまま電源プラグを抜いてください。)

⑧ [Ⓞ] 電源 ボタン / インジケータ
電源のスタンバイとオンを切り替えます。インジケータは、以下のように点灯します。
スタンバイ時 赤色
オン時 緑色
RS232経由で、電源投入時に電源をオンに設定することができます。

Step 6：Bluetooth®操作

ポータブルオーディオプレーヤーやタブレットなどのBluetooth対応機器の音声をワイヤレスで再生することが出来ます。また、USB 電源供給端子からUSB 充電対応機器に電源供給が可能です。



ペアリング

1. 本機の電源がオンの状態でBluetoothボタンを押す。インジケータが点滅し、ペアリングモードになります。

2. 音源として使用するタブレットなどのBluetooth機能を有効(オン)にして、表示される機器から本機を選択する。(本機の表示名[Onkyo MCA1120 XXXXXX]、P/W要求時は[0000]を入力)ペアリングが完了して接続状態になると、インジケータが点灯します。別のBluetooth対応機器と接続する場合は、1の操作から繰り返してください。本機は最大8台のペアリング情報を記憶します。

再生

1. 本機の電源がオンの状態で、音源として使用するタブレットなどのBluetooth接続操作を行う。

2. 音楽ファイルを再生する。

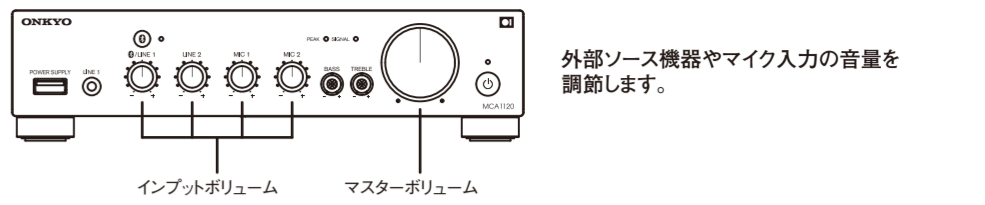
3. タブレットなどのボリュームを適度に上げる。Bluetooth接続中にLINE 1入力端子に機器を接続すると、Bluetoothの音声が止まり、LINE 1の音声が出力されます。

Note: Bluetooth機能を無効にするには、本機の電源がオンの状態で、Bluetoothボタンを10秒間長押しします。切替えが完了すると、インジケータが素早く2秒間点滅します。有効にするにはBluetoothボタンを10秒間長押しします。切替えが完了すると、インジケータが素早く2秒間点滅します。無効時にBluetoothボタンが押された場合は、インジケータが素早く1秒間点滅します。

Bluetooth®

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。

Step 7：音量調節



1. メインで使用する外部ソース機器を接続したインプットボリュームを中央(12時)の位置に設定する。

2. その他のインプットボリュームは最小にしておく。

3. BGMを再生し、最適な音量になるようにマスターボリュームを調整する。

4. 手順3で決めたマスターボリュームは固定した状態で、その他の機器やマイクからそれぞれ音声を出力しながら、各インプットボリュームを徐々に上げて音量のバランスを取る。

- ・手順4にてその他のインプットボリュームを最大にしても音量が小さい場合は、手順1のインプットボリュームを少し下げ、再び手順2から実施してください。

困ったときは

症状	原因	対策 / 手順
電源が入らない	電源コードが抜けている。 機器の保護機能が働いた。	電源コードを接続してください。 電源プラグを抜き、スピーカー接続を確認してください。その後、数分してから電源を入れ直してください。
Auto Power Onを設定しているのに、電源が入らない	再生しているタブレットや外部ソース機器の出力レベルが小さい。	タブレットや外部ソース機器の音量を上げてください。
すべての入力で音が出ない	[マスターボリューム]のレベルが適切でない	[マスターボリューム]を適切な位置(目印が中央付近)に戻してください。
音が出ない 音が出ない 音が小さい 音が歪む 雑音がある	接続したスピーカーの特性、スピーカーの設定/接続を合わせてください。また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか	本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
Bass / Trebleの効果が無効になっている	[Bass] / [Treble]コントロールで適切な状態に調整してください。	[Bass] / [Treble]コントロールで適切な状態に調整してください。
特定の入力音が出ない 音が小さい 音が歪む	[LINE 1]に接続した機器のみタブレットや外部ソース機器のボリュームレベルが適切でない	タブレットや外部ソース機器の音量を上げてください。 Bluetoothやヘッドホン出力は、対象機器のボリュームレベル設定の影響を受けます。
特定の入力音に問題がある。 [インプットボリューム]のレベルが下がっている。	適切なバランスになるまで、[インプットボリューム]のレベルを調整してください。 ・外部ソース機器に出力レベル調整がある場合は、適正レベルになっているか確認してください。 ・音源自体に問題がある場合は、適切な音源に切り替えてください。	適切なバランスになるまで、[インプットボリューム]のレベルを調整してください。 ・外部ソース機器に出力レベル調整がある場合は、適正レベルになっているか確認してください。 ・音源自体に問題がある場合は、適切な音源に切り替えてください。
特定の入力音の音声信号が入力されていない	外部ソース機器が正しく接続しているか確認してください。 外部ソース機器が音声信号を出力しているか確認してください。	外部ソース機器と正しく接続しているか確認してください。 外部ソース機器が音声信号を出力しているか確認してください。
[LINE 3]入力のみ歪んだり音が大きい場合 SET UP DIPスイッチ6 [MIC 2 / LINE 3]の設定が[MIC 2]になっている。		SET UP DIPスイッチ6 [MIC 2 / LINE 3]の設定を[LINE 3]にしてください。
マイク入力 音が出ない 音が小さい	Micレベル出力のマイクを接続した際にMIC AMPがOffになっている。	SET UP DIPスイッチ7 [MIC 2 AMP]を[On]にする。
インジケータが点滅し 電源が入らない 音が出ない 音が小さい 音が途切れる	接続したスピーカーの特性(仕様)、スピーカーの設定(DIPスイッチ)接続した端子(ユーロブロック)が合っていない。	本機とスピーカーの、インピーダンスの設定/接続を合わせてください。また、以下の点を確認してください。 ・最大定格を超える機器を接続していないか ・複数台のスピーカーを接続している場合、合成特性(合計ワット数や合成インピーダンス)が本機の定格を超えていないか
本機のマスターボリュームを回しても一定の音量以上、上がらない。	スピーカーケーブルがショートしている。	スピーカーケーブルの接続を見直してください。
	機器内部の温度が異常に高くなっている。	電源プラグを抜いて風通しのよいところに放置し、数分後に電源を入れ直してください。放熱孔をふさがないように注意し、温度が上昇しない場所に設置してください。
操作ができない。	操作ロックが設定されている。 電源ボタンとマスターボリューム以外の操作ができない。	SET UP DIPスイッチ1 [Keylock]の設定を[Unlock]にしてから、電源プラグを抜き20秒以上待って押し直してください。
Bluetooth接続ができない 不安定になる 途切れる	周辺に金属製の障害物や電子レンジ、コードレス電話などの電波使用機器がある。 他のアプリの影響等で、Bluetooth対応機器との接続が途切れた。 本機のソフトウェアに何らかの不具合が起きている。	これらの障害物から離して設置してください。 店内でご使用中は、Bluetoothに影響する他のアプリを終了してください。 本機の電源抜き挿しや、Bluetooth対応機器の電源オン/オフなどをお試しください。必要に応じて、3.5mmミニプラグコードにて[LINE 1]に接続してご使用ください。
動作が不安定	—	本機を再起動すると改善することがあります。電源が入っている状態で、電源ボタンを5秒以上押しと、赤色のスタンバイインジケータが点滅しますので、ボタンを離してください。

[困ったとき]について、より詳細な情報をWebに掲載しています。
<https://www.onkyo-mc.com/amplifier>
それらを参照しても症状が改善しない場合は、オンキヨーオーディオコールセンターへお問い合わせください。



Webサイト



製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター ☎ 050-3161-9555
受付時間 10:00~18:00 (土・日・祝日・弊社定める休業日を除きます)

©2020 ODS Corporation

Printed in Malaysia